

獨混四旅作命甲第六四四號

獨立混成第四旅團命令

九月三日二十時三十分  
陽 自景

一笠鈴討伐隊ハ前命令ニ依ルコトナク續イテ馬坊鎮ヨリ

廣陽村ヲ經テ小西溝附近ニ進出シ所在ノ敵ヲ再破スヘシ

ニテハ陽白水戰鬪司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

六旅團長ハ主力ヲ以テ松塔鎮—小西溝以北ノ敵ヲ再滅ス

ヘテ又笠鈴討伐隊ヲ速ニ松塔鎮ニ向ヒ前進セシメントシテ十四時

獨混四旅作命甲第六三九號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第六三九號

獨立混成第四旅團命令

九月三日十四時

一旅團ハ主力ヲ以テ松塔鎮—小西溝(松塔鎮東北十九粒)

2122

此北ノ敵ヲ專滅ス

笠鈴計伐隊ハ成ルヘク速ニ先ツ松塔鎮ニ向ヒ前進スヘシ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

七三日申ニ於ケル各計伐隊ノ戦果

田中計伐隊

補 虜 六 小 銃 三

小 銃 彈 五七 手 榴 彈 八

十 字 鋏 一 黒 色 火 薬 四〇〇

クイナマイト 二五

鈴木計伐隊

敵 遺 死 体 二〇 負 傷 多 数

小 銃 二 小 銃 彈 一〇〇

五ツコ軽機

一 拳銃 彈

二

笠鉾計伐隊

敵遺棄死体

六

捕

虜

原田計伐隊

敵遺棄死体

三七

小

銃

一

銃

劍

一

小

銃

彈

六五

手榴 彈

三

九月四日

一 各支隊ノ状況

(一) 田中計伐隊

三日ニ縱隊トナリ前進中長安村東方地區ニ於テ約一千ノ敵ヲ攻撃之ヲ爾方ニ退却ヲ長安村進出ス

四日早朝部隊ハ長安村出奔同地附近主要村落上下竄

白米落摩寺周圍邊ヲ掃落シテ本寺ヲ摩寺ニ進出ス

(一) 鈴木討伐隊

三日夕水草谷附近ニ於テ追再々中止シ四日早朝水草谷出發水深掌ヲ經ルニ西寨鎮ニ向ヒ前進ス

(二) 池邊討伐隊

早朝歩不羅村出發西寨鎮ニ向ヒ前進中土時三十分寺上村及西寨鎮附近ヲ經テ約三ノ敵ヲ攻再々十五時三十分西寨鎮ニ進出ス

(三) 笠鈴討伐隊

馬坊鎮—廣陽村周圍邊ヲ肅正シテ、廣陽村ニ向ヒ前進中十四時頃南村塔(廣陽村西南方本料)附近ニ於テ追再砲ヲ數門有スル敵白ノ敵ト遭遇シ之ヲ西北方ニ再退續イテ十八時廣陽村南方高地ニ在ル約五百ノ敵ヲ攻再東南方ニ再退シ十九時廣陽村ニ進出ス

(四) 徳江討伐隊

十時五分堂上村東方ニ折閉鎖曲線高地ニ進出ニ部ヲ以テ堂上  
村ノ横多クノ資施ヲ續イテ端嶺村及其ノ以東ノ地區ノ掃蕩  
後上南前村ニ進出ス

(六) 原田討伐隊

原田村東方地區ニ師特務團約ニ侵入シ連日會  
里下社上社各警備隊ニ來襲シテ依而該敵討伐ノ自  
約ヲ以テ步兵中隊ヲ直行ニヨリ四時壽陽出發下社村ニ向  
前進セシム

二旅團長ハ笠笠討伐隊ノ反轉作戰ニ関シ十五時獨混四旅  
作命用第六四五號之下達ス

獨混四旅作命用第六四五號

獨立混成第四旅團命令

九月四日 十五時

一小西堀附近ニ大ナル敵兵團ヲ他討伐隊之ヲ掃蕩ヲ担任ス  
ニ笠笠討伐隊ハ五日ヨリ反轉概テ前進路ニ沿ヒ獨混四旅

作命申第六六號高級參謀指示第一項ノ自的ヲ達シツ、  
八日又迄ニ榆社ニ到リ着スヘシ

爾後適時榆社出發榆社―武郷―史北鎮―虎亭鎮―

夏石鎮―瀨安道ヲ瀨安ニ到リ石所屬ニ復歸スヘシ

進藤中隊迫毒砲中隊之八日榆社ニ於テ其ノ指揮ニ復歸  
セシム

進藤中隊ハ夏石鎮ニ於テ石所屬ニ復歸セシムヘシ

四糧秣ハ榆社ニ於テ補給ス

五予ハ陽自來戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

三旅團長ハ合計伐隊ノ反轉作戰ニ関シ十九時獨混四旅作命

甲第六四六號第六四七號第六四八號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第六四六號

獨立混成第四旅團命令

四月十九日 泉

一 敵情ハ別ニ示ス

德江部隊ハ四日上南苗村ニ到リ、明五日同地附近ヨリ平定四方  
地區ヲ肅正スル筈

北邊討伐隊ハ四日西寨鎮附近ニ進出、五日反轉ヲ開始シテ

西寨鎮―石候溝―寒湖鎮―石運村道ニ沿ヒ前進スル筈

笠鈴部隊ハ四日廣陽村附近ニ到リ、五日ヨリ反轉作戰ヲ開始

切シ馬坊鎮―油房溝―榆社<sup>道</sup>ニ沿ヒ前進スル筈

二 鈴木討伐隊ハ反轉作戰ニ方リテ、左ノ切ノ行動スヘシ

ノ主力 西寨鎮―北尚鎮―馬道嶺―昔陽道<sup>沿</sup>ニ進出シ

一區ヲ前進シ、五日北尚鎮ニ至リ、馬道嶺東側地區ニ進出シ

七日昔陽ニ到ル

二 一部ハ西寨鎮―北張城―昔陽道ヲ昔陽ニ前進スルモ

8822

トヲ五日北張城ニ六日昔陽西側地區ニ進出ス

三、別動隊（輕裝装甲車一小基幹）六日昔陽ニ位置直ヲ鈴木討  
伐隊ノ行動ニ策ヲ應ズル旨

四、予ハ陽泉戰鬪司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

獨混四旅作命甲第六四八號

獨立混成第四旅團命令

九月四日十九時

一、敵情ハ別ニ示ス

鈴木討伐隊ハ四日西寨鎮附近ニ到リ五日及轉作戦ヲ開始  
シ一部ヲ以テ西寨鎮―北張城道ヲ北張城附近ニ主力ヲ以テ五日  
夜泊尚鎮附近ニ進出スル旨



笠鈴討伐隊ハ四日廣陽村附近ニ到リ五日ヨリ又轉作戰ヲ開始  
 シ馬坊鎮―油房溝―榆社道ニ沿ヒ前進スル等  
 二池邊討伐隊ハ五日又轉作戰ヲ開始シ西寨鎮―石候溝―  
 寒湖鎮道ニ沿フ地區ヲ前進シ途中要點ヲ徹底的ニ肅正シツツ  
 ハ日石匣村ニ到ルヘシ

三六師團ヨリノ配屬部隊ハ八日夕迄ニ榆社ニ到ラシメ笠鈴討伐隊  
 ノ指揮ニ入ラシムヘシ

三予八陽泉戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

獨立混成旅團第四旅團命令

獨立混成第四旅團命令

九月四日九時

一 敵情六別三本ス

田中計伐隊ハ四日著摩寺附近ニ到リ明五日鐵道南側地  
區ヲ肅正スル筈

爲公不計伐隊ハ四日西寨鎮附近ニ到リ五日反轉作戰ヲ開  
始シ之部ヲ以テ西寨鎮一北張城道ヲ北張城附近ニ主刀ヲ  
以テ五日夜方尚鎮附近ニ進出スル筈

笠發計伐隊ハ四日廣陽村附近ニ到リ五日ヨリ反轉作戰ヲ  
開始シ馬坊鎮一油房溝一榆社道ニ沿ヒ前進スル筈

二 德江部隊ハ飛行便ニヨル北指定地區ノ肅正ヲ終了シ四圍ノ狀  
況之ヲ許セハ五日夕刻以後陽泉ニ歸還シ六日以後ノ巨城鎮  
東北方地區ノ肅正ヲ準備スヘシ

三 五日午後實施スヘキ笠發部隊ノ糧秣補給掩護ハ之ヲ止ム  
四 予ハ陽泉戰鬪司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下謹法

電報後印刷交付

四、四日中ニ於ケル各討伐隊ノ戦果及我損害

池邊討伐隊

捕虜 五 十二年式軽機

小銃 六

笠鈴討伐隊

敵遺棄死体 三一 九五ツコ軽機

小銃 一

我損害

軽傷 一

九月五日

一各支隊ノ状況

(一) 田中討伐隊

早朝曹家庄(落)摩寺東方ニ料)出發ニ縱隊トナリ一部ヲ以テ落)摩寺北方地區ヨリ水牛山ヲ経テ小庄(張)淨鎮東方(約四料)ニ主刀ヲ以テ曹家庄北方地區ヲ掃落)燼滅シツク上庄ニ向ヒ前進十五時三十分上庄ニ進出ス

(二) 鈴木討伐隊

早朝司家掌(西)寨鎮北方ニ料)出發ニ縱隊トナリ西寨鎮一(池)尚鎮ヲ連ヌル線以東ノ地區ヲ掃蕩燼滅シツク主刀ハ小杏左(池)尚鎮東南方八料)各一部ヲ以テ潘家掌(西)寨鎮東々北八料)北溝村(池)尚鎮東南方ニ料)ニ向ヒ前進同日主刀(南)掌城(杜)庄村西北方十一料)ニ各一部ハ小杏左(昔)陽南方十二料)蟠家掌(日)陽西南方十四料)池)尚鎮附近(各)百餘口ス

(三) 池邊討伐隊

五日四時西塞系鎮出發寒湖鎮ニ向ヒ前進中南滿清軍(昔陽回  
北方十六料)ニ於テ約十四名ノ敵ト遭遇シ之ヲ殲滅セリ  
續イテ十九時寒湖鎮東方高地ヲ占領スル約百ノ敵ヲ及事有  
一時長建村ニ進出宿營ス

(四) 原田討伐隊

早朝昔陽出發昔陽一試塘一張淨鎮道周邊ヲ掃蕩シ  
ツツ張淨鎮ニ向ヒ前進十八時三十分赤泉鎮ニ宿營ス

(五) 別動隊ハ早朝和順出發同日夕昔陽ニ到着ス

(六) 笠鈴討伐隊

早朝廣陽村出發廣陽村一南軍城道ニ沿リ地區ヲ掃  
蕩シツツ前進中九時麻子煙(廣陽村西南方六料)西方高  
地ニ於テ約一〇〇ノ敵ト遭遇シ之ヲ西南方ニ退高家は(廣陽  
村西南方八料)一樹石村(馬坊鎮南々西八料)道ニ沿リ地區  
ヲ掃蕩シツツ十八時三十分樹石村ニ兵力ヲ集結ス

## (四) 徳江計伐隊

早朝下南茹村出發後岨村岳家溝ヲ掃蕩シツツ十二時上庄  
ニ進出大休止後十五時上庄出發北郷ヲ経テ二十時陽泉ニ到着  
爾後ノ行動ヲ準備ス

## (ハ) 原計伐隊

上社鎮(孟縣北方二十四料)下庄村會里村附近ノ敵ヲ計伐ノ  
目的ヲ以テ四月二時孟陽ヲ出發セル原計伐隊(歩兵約一中隊六  
四日午前上社鎮北方五料黃沙リ上綱腰附近ノ敵ヲ再破シ  
下社村ニ進出セリ

二、軍作命甲第ニ七ニ號ニヨリ第一期晋中作戰ノ復行ヲ命ゼラル  
三、旅團長ハ勝川將校作候ヲシテ陽泉河底鎮間ノ敵情並ニ自  
動車道ヲ偵察セシムル為ニ十四時獨混四旅作命甲第六四九  
號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第六四九號

獨立混成第四旅團命令

陽五月十四日 泉

一 勝川少尉八部下小隊(工兵下士官一兵)砲自動車五輛鴉六ヲ附ス  
ヲ指揮シ將校下候トナリ速ニ陽泉一河底鎮道ヲ河底鎮西  
方峠附近ニ前進シ敵情並ニ自動車道ヲ偵察シ十八時迄ニ  
陽泉ニ歸還スヘシ

二 予ハ陽泉戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山 少將

下達法

口達

四 旅團長ハ一軍作命甲第三七二號ニ基キ各計伐隊ニ對スル次期計  
伐行動準備ヲメ獨混四旅作命甲第六五〇號第六五二號及  
第六五三號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第六五〇號

獨立混成第四旅團命令

九月五日十八時  
陽泉

一 港邊討伐隊ハ九月六日和順ニ歸還シ直後ノ討伐行動ヲ

準備スヘシ

軍隊區分故ノ如シ

二 歸還時ニ於テモ燼滅戰ニ徹底スヘシ

三 爾後ノ行動ニ関シテハ六日夕別命ス

四 予ハ陽泉戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後 印刷交付

獨混四旅作命甲第六五一號

獨立混成第四旅團命令

九月五日十八時  
陽泉

一 鈴木討伐隊ハ九月六日昔陽ニ歸還シ直後ノ討伐行動ヲ



準備スヘシ

軍隊區分故ノ如シ

歸還時ニ於テモ燼滅戰ニ徹底スヘシ

二爾後ノ行動ニ関シテハ六日夕別命ス

三予ハ陽泉戰鬥司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

獨混四旅作命甲第六五ニ號

獨立混成第四旅團命令

陽月五日十八時

笠鈴討伐隊ハ左ノ如ク行動ス引續キ實施スル討伐行動

ヲ準備スヘシ

六日 油房溝附近進出

8622

2. 七日 主刃ハ高崖底(礼家庄)ニ進出ス

歩兵約一中隊掩護ノ下ニ輜重ヲ長城鎮ニ派遣シ該地ニ於テ

石匣村ヨリスル七日分ノ糧秣及彈藥木(輜重)ノ積載定目量

以外ハ地方駄馬ニ駄載ノ儘(一)ヲ受領セシム

3. 八日 高崖底及長城鎮ヲ進發シ向八日夕池旁溝ニ進出ス

二 爾後ノ行動ニ関シテハ六日夕別命ス

歸還途中ニ於テモ熾烈戦ニ徹底スヘシ

三 予ハ陽泉戦闘司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

電報後印刷交付

五 五日ニ於ケル戦果

池邊討伐隊

敵遺棄未死体 一四

77

1593

九月六日

一 各支隊ノ狀況

(一) 田中討伐隊

六月皇朝上庄出發ニ縱隊トナリ龍門村ヨリ坡頭ニ至ル以東ノ  
世區ヲ掃蕩シツツ陽泉ニ向ヒ前進十八時陽泉ニ到着爾後ノ  
行動ヲ準備ス

(二) 鈴木討伐隊

早朝夫々宿營ニ出テ出發四縱隊トナリ昔陽西方世區ヲ掃蕩  
燼滅シツツ同夕昔陽ニ到着爾後ノ行動ヲ準備ス

笠鈴討伐隊

敵遺棄不死隊

我戰死馬

左ツコ輕機

一

小

銃

二

三

小

銃

三

二

(三) 池邊討伐隊

六日十時三十分頃長建村南方高地に於て三八五旅七五九團の一部  
ヲ攻撃ス敵ノ主力ハ十一時三十分頃ヨリ西南方揚光占方向ニ退  
却セリ

部隊ハ此ノ敵ヲ徹底的ニ殲滅スル目的ヲ以テ揚光占ニ向ヒ追  
撃十五時三十分長以嶺東方高地ニ進出續イテ該敵ヲ猛追十七時  
三十分殿上村附近ニ於テ四散潰走セシメ兵力ヲ揚光占附近ニ集結  
正午迄ニ判明シ池邊戦果左ノ如シ

遺棄 棄木 死体 五〇

捕虜 二

鹵獲 品 整理中

9622  
仰 笠鈴討伐隊

早朝樹心村出發途中乃道ヲ殲滅シツツ十二時佛爺嶺ニ進出  
宿巻呂ス

## (四) 德江討伐隊

黃統附近ノ敵ヲ攻奪スル目的ヲ以テ十三時三十分陽泉出發巨城鎮ニ進出宿營シ爾後ノ行動ヲ準備ス

## (六) 原討伐隊

早朝芥泉鎮出發張淨鎮ニ到リ長以下五〇名ヲ同地ニ駐兵セシメ十三時壽陽ニ歸還ス

(七) げ 裝表甲列車ハ一時頃白羊野東端附近ニ於テ十數名ノ敵ヲ攻奪シ之ヲ南方ニ潰走セシメ引續キ該敵ヲ捕捉スヘク搜索中ナリ

## (八) 原討伐隊

早朝孟縣ニ向ヒ前進中孟縣北々四十四料神泉村附近ニ於テ有力ナル敵ト遭遇交戦ス

(九) 孟縣警備隊ハ六月東方ヨリ迫進<sup>砲</sup>ヲ有スル約一〇〇名ノ敵ヲ攻奪ヲ受ケタルモ之ヲ再退シ對峙シテ夜ニ入ル

二 旅團長ハ二軍作命甲第三七二號ニ基キ第二期晋中作戰ヲ復行シ敵

ヲ徹底的ニ覆滅掃蕩スヘシ獨混四旅作命甲第六五三號ヲ下達ス  
獨混四旅作命甲第六五三號

獨立混成第四旅團命令

陽月六日 泉

一 各計伐隊ノ果敢ナル計伐ニヨリ石太線南側地區ノ共產軍ハ隨所  
ニ甚大ナル打撃ヲ蒙リタルモ尙有カナル敵ハ各地ニ分散潜伏シ  
アリテ機ヲ見テ武力及地下工作ニヨリ固執ヲ企圖シアルモノノ  
如シ

軍中第一期作戰ヲ復行ス

二 旅團ハ九月八日石太線陽泉和順、寒湖鎮、高崖底(孔家庄)  
ヲ連ヌル線ヲ進發シ松塔鎮、橫嶺村、馬坊鎮ヲ命リ地區ニ向ヒ  
第一期作戰ヲ復行シ徹底的ニ所在ノ敵ヲ覆滅掃蕩セントス  
獨混九旅トノ作戰地境ハ概ネ壽陽、松塔鎮、馬坊鎮、潤房、  
高崖底ヲ連ヌル線トス

三 各計伐隊ハ別紙行動基準並ニ復行作戰實施要領ニ基

所在ノ敵及敵性分子ヲ燼滅シツツ九月十日目標線ニ進出ス  
目標線進出後ノ反轉討伐ノ進路ハ別紙ノ如ク討伐終了後  
ノ集結位置及日次ヲ概テ左ノ如ク豫定ス

原田討伐隊

壽陽 (九月十三日)

徳江討伐隊

陽泉 (九月十三日)

田中討伐隊

昔陽 (九月十三日)

鈴木討伐隊

昔陽及利順 (九月十三日)

池邊討伐隊

石匣村及遼縣 (九月十三日)

笠鈴討伐隊

榆社 (九月十三日)

軍隊區分別紙ノ如シ

四、旅團直轄部隊ハ先ツ陽泉ニ位置直ス

五、各地區警備隊ハ益々整リ備ヲ最ナラシムヘシ

陽泉―遼縣―榆社道ニ沿テ警備隊ハ特ニ東方又ハ南方ヘノ  
敵ノ脱出ニ力ヲ盡シテ索出發見ニ努ムルト共ニ積極的ニ敵ノ行動

拘制スヘシ

又徳江石臼田兩地區警備隊ハ所要ニ應テ鐵道復旧作業

直接掩護スヘシ

六通信補給ニ關シテハ別ニス

七、調部ニ關シテハ高級參謀ヲシテ指不セシム

八、予ハ陽泉戰鬪司令所ニ在リ

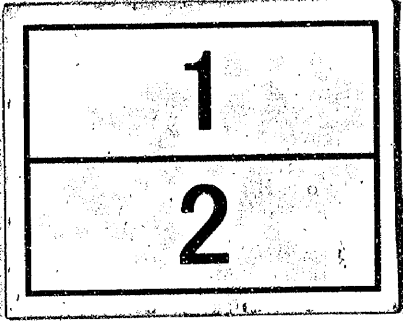
旅團長 片山少將

下達法

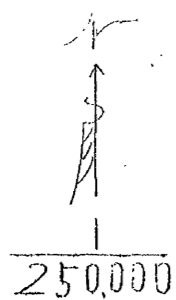
印刷交付〔原田部隊ニ飛行機ヨリ投下〕



## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	独立混成第4旅団各討伐隊 行動基準要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

1600  
1601

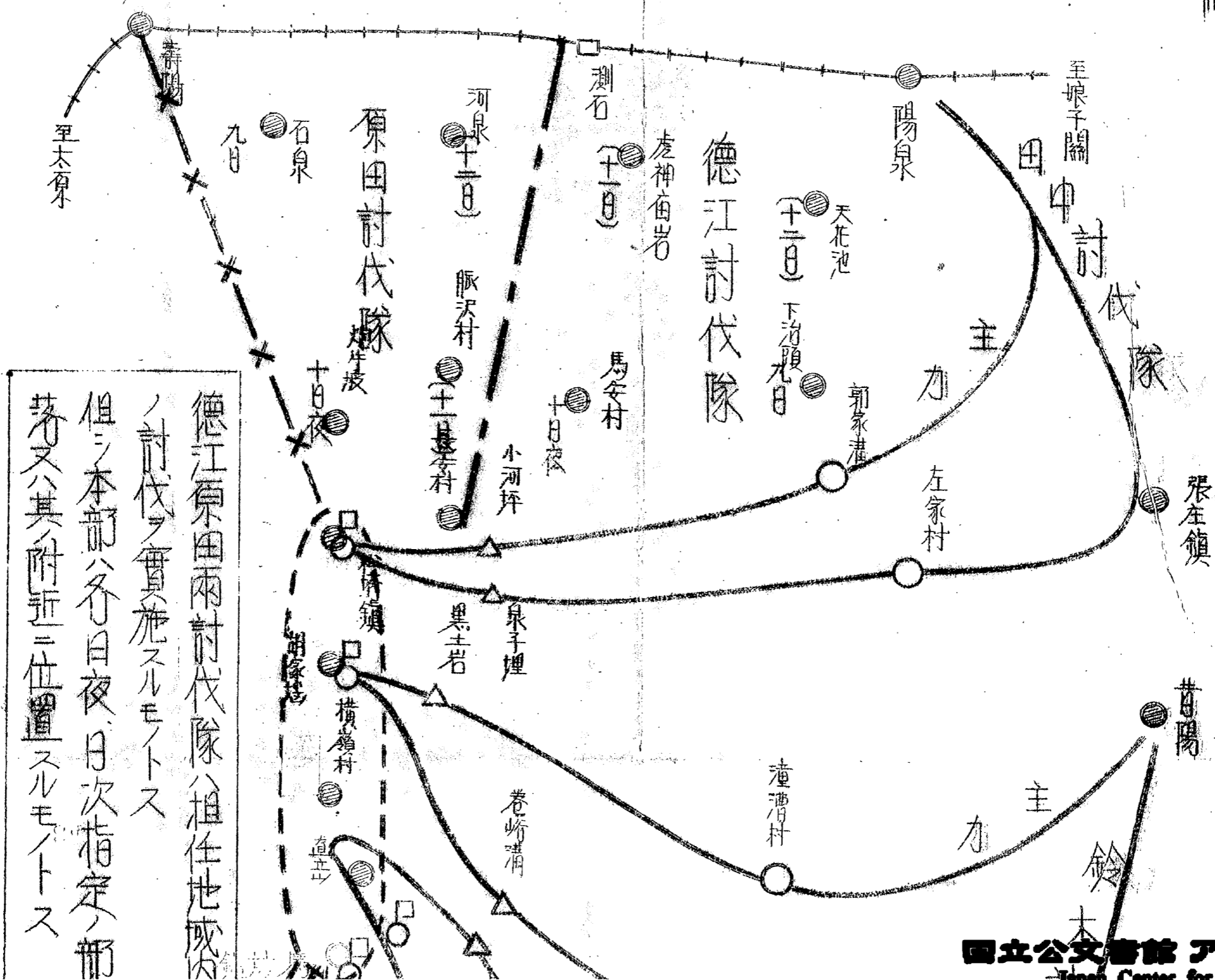


0082

# 獨立混成第四旅各討伐隊行動基準要圖

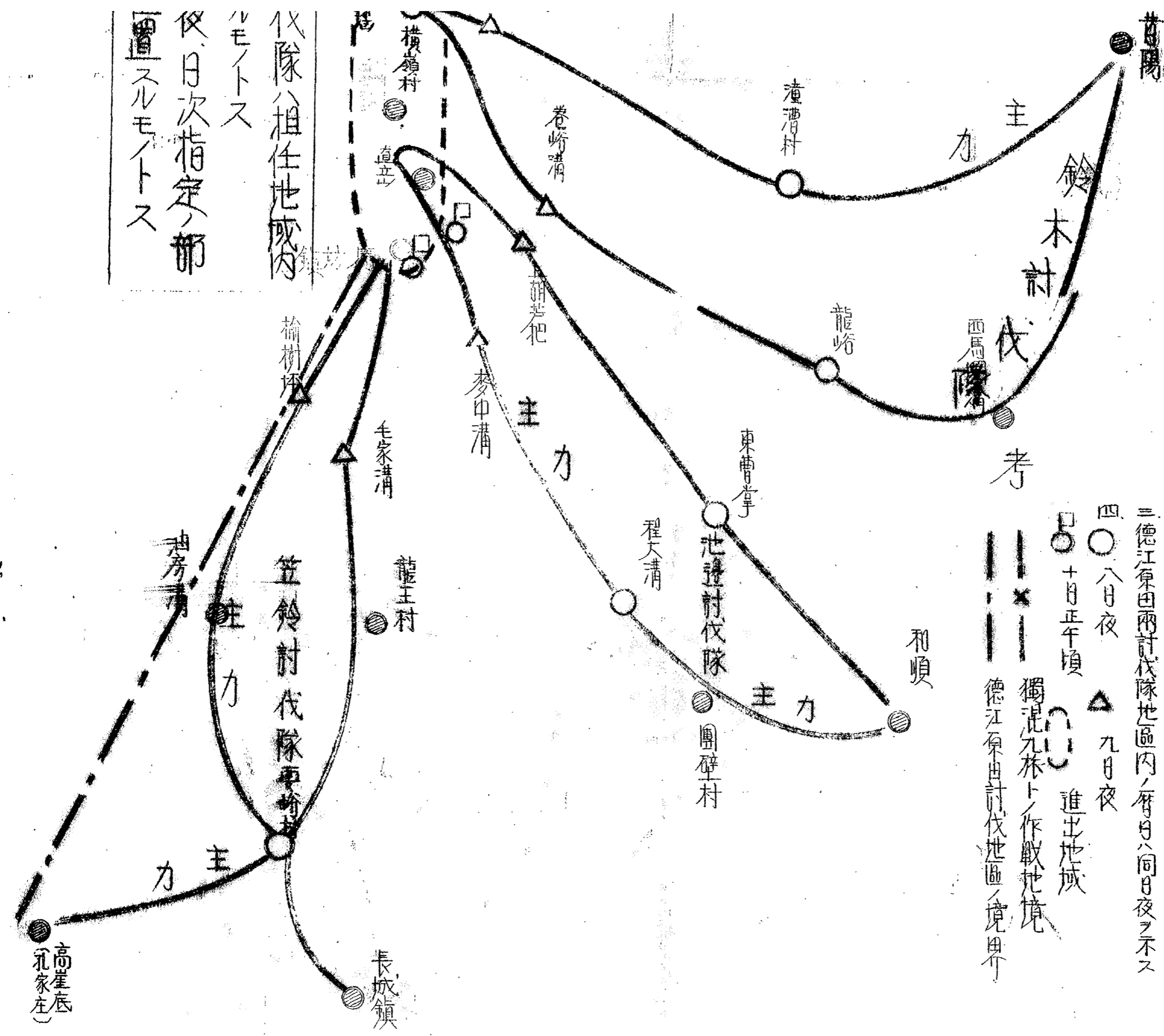
自九月八日至九月十九日

別紙



德江原田兩討伐隊ハ担任地内  
ノ討伐ノ實施スルモノトス  
但シ本部ハ各日夜日次指定ノ部  
落又ハ其附近ニ位置スルモノトス

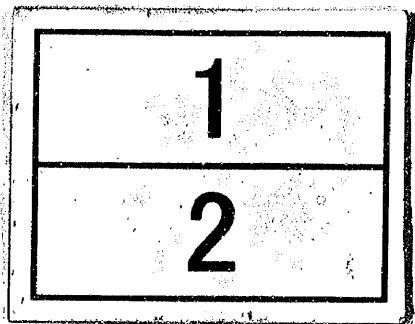
儀隊公担任地内  
 儀日次指定部  
 置スルモトス



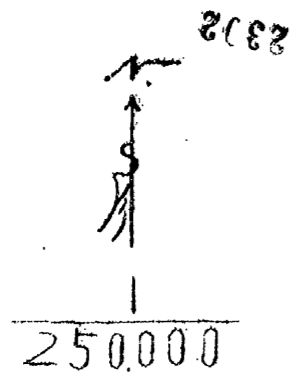
備  
 一 各討伐隊集結地より出發時間各隊長通宜規定スルモトス  
 二 轉配部隊ノ轉配屬十月正午頃概本本部ノ位置於テ行テモトス  
 三 德江原由兩討伐隊地區内ノ何日ハ同日夜ヲ不ス  
 四 ○ 八日夜 △ 九日夜  
 ○ 十月正午頃 進出地域  
 × 獨混丸林ト作戦地域  
 | | 德江原由討伐地區ノ境界

1082

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	独立混成第4旅団各討伐隊 行動基準要因
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

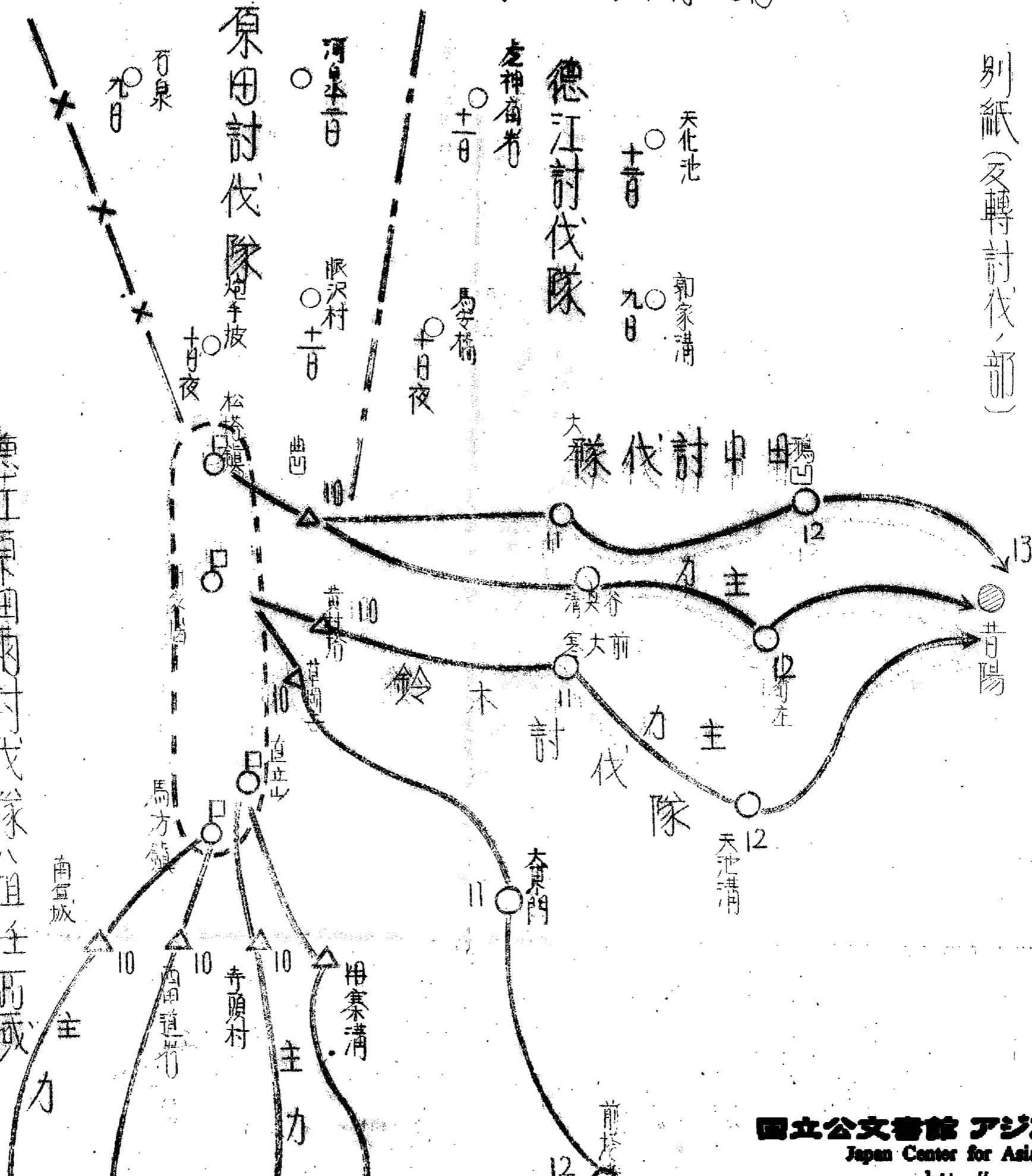
1602  
1603

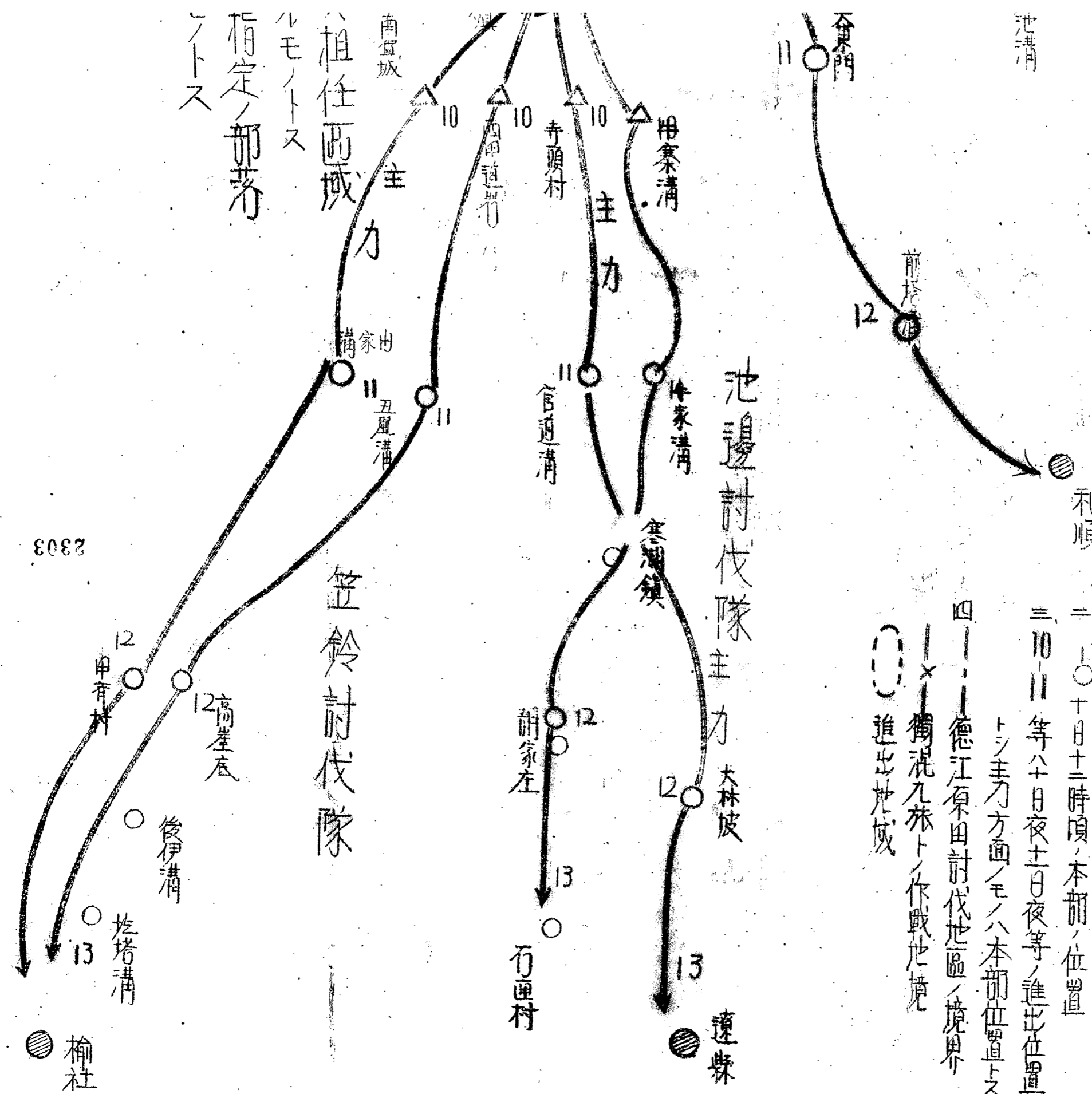


日三十月九至時二十日十月九自

別紙(支轉討伐部)

德江領原田兩討伐隊ハ担任區域  
 内支轉討伐之旨實施スルモノトス  
 但本部ハ各日夜指定ノ部署  
 又其附近ニ位置スルモノトス





南宮城  
祖任西城  
ルモノトス  
有定ノ部落  
ノトス

池邊討伐隊

笠鈴討伐隊

備考

- 一 行本部が十日夜ノ位置へ移動ノ為晝間ノ位置へ出發ノ時期ハ所要ノ轉配屬部隊ノ轉配屬終了後トス
- 二 〇十日十二時頃ノ本部ノ位置
- 三 10日等ハ十日夜ト日夜等ノ進出位置トシ主力方面ノモハ本部位置上
- 四 一 徳江原田討伐地區ノ境界  
 一× 獨混九旅トノ作戰地境  
 〇 進出地境

2303

徳混四旅作命甲第六五三號別紙

軍隊區分

徳江討伐隊

長 徳江歩兵中佐

徳江地區警備隊ノ歩兵三中队、山砲兵小隊(分欠)

原田討伐隊

長 原田歩兵大佐

原田地區警備隊ノ歩兵三中队

田中討伐隊

故ノ如シ

鈴木討伐隊

故ノ如シ

但シ九月十日渡邊中队ヲ池邊討伐隊長ノ指揮下ニ復歸セシメ且大畑山砲兵中队(小隊名)ヲ池邊討伐隊ニ轉

屬セシムヘシ

池邊討伐隊

故ノ如シ

但シ九月十日笠鈴部隊ヨリノ轉屬部隊ヲ有テ所屬ニ復歸  
セシムヘシ

又鈴木部隊ヨリ渡邊中隊ヲ復歸セシメ且大坪山砲兵  
隊(小欠)ヲ新ニ配屬ス

笠鈴討伐隊

故ノ如シ

但シ九月十日池邊討伐隊ヨリ進藤中隊泊撃中  
隊ヲ復歸セシム

各轉配屬部隊ノ轉配屬位置ハ關係部隊長相互  
定スヘシ



# 第二期晋中作戰復行實施要領

主 旨

各部隊ノ果敢ナル討伐ヨリ多大ノ成果ヲ收メタルモ敵ハ尙現戰陽ニ於テ前々分散潜伏シ我作戰終了ヲ待チテ再度戦力秩序ヲ回復シテ次ノ行動ヲ移ラント企圖シアルモノ如ク此際ハ仅ノ内ヲ一箇員ニ缺クサル如ク思ハ執拗ナル作戰ヲ復行シ飽クマテ敵ヲ真滅シテ該地ニ於ケル共產軍ノ禍根ヲ掃セントス

要 領

一 前進部署並ニ戰鬪指導

ノ各支隊ハ所命ノ進路ニ沿リ地區ヲ道路地形ノ關係ヲ顧慮シ小

ナル數縱隊ヲ以テ分進シ廣正面ニ且リ敵及敵性住民並ニ隱匿

兵器等ヲ索不出ニ努ム

二 各支隊ハ作戰區域内ニ搜索不洩レノ地城ヲキ如ク前進ヲ部署ス

三 第二期作戰前段ニ於テ掃蕩セル地區ト雖モ其ノ墟瓦不充分ト認

ル時公更ニ之ヲ復行スルモノトス

4. 各縦隊共側方ニ在候ヲ派遣為ラ得レハ便衣ヲ着用セル在候率

偵ヲ使用ヲ又捕虜ノ住民等ヲ利用シテ搜索ノ補助トナス

5. 各部落ノ家宅搜索ノ其他敵又ハ敵性住民ノ隠匿も隠遁シテ

場所ノ索出ヲ行フ

6. 敵部隊ニ遭遇シテハ狀況ヨリ各縦隊令旨ヲ或ハ部ヲ以テ速ニ

路ヲ遠敵ヲ捕捉殲滅ニ切ク

ニ燒滅自標及方法

1. 敵及土民ヲ假禁スル敵

2. 敵性アリト認めル住民中十五才以下三十才迄ノ男子

3. 敵隠匿シアル武器彈藥ノ類且ハ爆藥木等

4. 敵ノ集積セリト認めル糧秣

5. 敵ノ使用セル文書

6. 敵性部落

殺戮

押收携行、止ム  
得ル時ハ燒却

燒却破壞

三 索出着眼

ノ主要道路ヲ離レル山印特ニ山腹ノ横穴谷地隙内畑中

2. 建物内特ニ村公署有學校内及其ノ周圍

3. 部落周圍邊

其ノ他現地状態ニ應テ細心ナル注意ヲ以テ徵候ヲ發見ス

例

一 九月三日笠石不部隊鈴木部隊八島溝(馬坊鎮西南方十村)

附近ニ於テ隱匿シアル小銃ニラ挺、無線機一ヲ發見押收ス

二 九月三日田中部隊八長安村附近ニ於テ黒色藥水四ロロ社タイナイ

ニ五社ヲ發見押收ス